

令和2年度 第16回 地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事会

【議事抄録】

1 日 時 令和2年11月12日（木） 13時30分から15時30分

2 場 所 長崎みなとメディカルセンター 醫聖ホール

3 出席者 12名

○理事会組織構成役員出席者数 9名

片峰理事長、門田副理事長、増崎副理事長、草野理事、三藤理事、森理事、
荒木理事、原理事、福崎理事

○監事 2名

白石監事、有田監事

○経営戦略アドバイザー 1名

廣瀬弥幸氏

4 審議事項1 令和2年度 第15回理事会議事録の確定

10月29日に開催した第15回理事会の議事録について、事務局案に対して特に異議はなく確定した。

5 報告1 経営状況について

事務局から病院全体の入院患者数等の10月の速報値とともに、目標値に対する10月の進捗状況についての報告及び目標達成に向けた現在の取り組みについて、資料に基づき報告された。

事務部長からは、診療実績は着実に回復してきているが、損益収支ではコロナ関連費用7千7百万を除いても、4～10月の累計で8億7千万円の累積赤字である状況を説明。重点目標としていた新入院患者数・一日平均在院患者数・入院単価も10月実績では達成できていないので、更なるアクションが必要との説明が行われた。続いて、経営企画室長から、毎週月曜日開催している経営戦略会議において、患者数推移等を分析し、対策を検討していることが説明された。

6 報告2 令和3年度予算編成の試算について

事務局から、令和3年度の予算編成について、資料に基づき報告された。
現状ベースでの試算では、来年度も5億5千万円の赤字が予想されることから、黒字化のための方策①（増収）方策②（支出抑制）の案について説明が行われた。

7 報告3 救命救急病棟の再稼働に関する関係会議の報告について

事務局から、第15回理事会で承認された救命救急病棟の再稼働について、市の地域医療審議会の専門部会と県の長崎区域地域医療構想調整会議専門部会で説明を行い、特に反対意見はなく了承されたことが報告された。

8 報告4 適切な保険診療に向けてのタスクフォースの取り組みについて

担当副院長から、取り組みについての現況報告と増収に向けた今後の課題について、資料に基づき報告があった。

9 報告5 ハラスメント防止ガイドラインについて（パブリックコメントを受けて）

担当理事から、ハラスメント防止ガイドライン（案）に関するパブリックコメントで寄せられた意見について、資料に基づき報告された。

10 報告6 医師の時間外労働の実態（10月分）について

担当理事より、医師の働き方改革タスクフォースからの報告として、10月の医師の時間外労働が、資料に基づき報告された。

稼働が上向きになる中で、100時間超え1名、80時間超が12名にとどまったのは、取り組みの成果として感じているとの説明が行われた。

11 報告7 医師の過労死事案に関する追悼イベントについて

事務局から、当院医師の過労死事案に関する12月の催しについて、12月12日（土）に、当院の労務管理等の改善・改革の実施状況の報告、全国医師ユニオン及び東京過労死を考える家族の会の方による基調講演、院内実行委員会による故人のエピソード発表等を予定していることが報告された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。